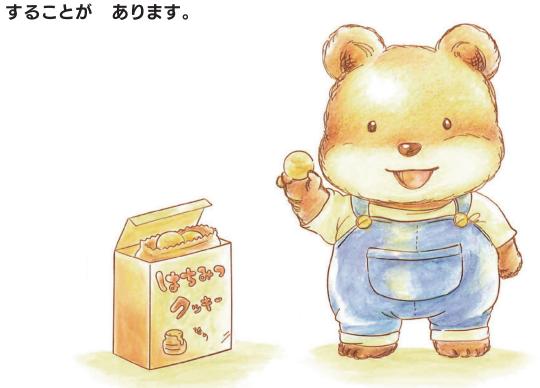


徳島県選挙管理委員会



くまの さとしくんは
げんきな おとこのこ。
パパと ママ おにいちゃん
3びきの いもうとたちと
たのしく くらしています。
いつもは きょうだいおもいの
さとしくんですが
ときどき きょうだいげんかを





このまえは うんどうかいの おべんとうをおにぎりにするか サンドイッチにするかですきなものが わかれ いもうとたちがおこってしまいました。

きょうも なにをして あそぶかで いけんが ちがい さとしくんの いうことは きいてもらえませんでした。

「ふだんは なかのいい きょうだいなのに…」。 パパと ママは ちょっぴり こまっています。





「どうして ぼくの いうことを きいてくれないの!」。

おこって いえを とびだした さとしくん。
とぼとぼと みちを あるいていると どこからか
『いっぴょう!』『いっぴょう!』と
こえが きこえてきます。

「なんだろう?」。

さとしくんが くさむらを のぞくと そこには ねずみの だいかぞくが いました。





「なにを しているの?」。

さとしくんが たずねると

こねずみたちが くちぐちに こたえます。

「せんきょだよ」。

「ばんごはんの おかずの せんきょ」。

「パパおとくいの カレーライスにするか

ママが つくってくれる オムライスにするか

せんきょで きめてるんだよ」。





さとしくんが みていると

ねずみの パパと ママは

じぶんの りょうりが どれだけ おいしいかを

こねずみたちに いっしょうけんめい はなしています。

それを きいていた こねずみたちは

なにかを かみに かいては

**『いっぴょう いっぴょう** 

ぼくの いっぴょう たいせつに』と

いいながら はこの なかに いれています。





ふしぎそうな さとしくんに ねずみの パパが おしえてくれました。 「たべたいものを つくってくれる ひとの なまえを かいて いるんだよ。 さいごに はこの なかの かみを かぞえて なまえが かかれた かみが おおいほうの りょうりが たべられるというわけさ。 みんなは すきなものが たべられるように **『いっぴょう いっぴょう** ぼくの いっぴょう たいせつに』と おまじないの ことばを いっているんだよ」。







「それが せんきょ?
どうして せんきょを するの?
はなしあいで きまらないの?」。
さとしくんが きくと
こねずみたちが いいました。
「はなしあいじゃ なかなか きまらない」。
「おにいちゃんは ちいさい ぼくの
いうことは きいてくれないもん」。
「だから みんなで せんきょをして
こうへいに きめているんだ」。





それを きいていた さとしくんは なにか おもいついた みたい。 「せんきょなら きょうだいげんかを せずに なんでも きめられるかも?」。 あわてて いえに とんで かえりました。

いえでは おにいちゃんと いもうとたちが

なにやら ワイワイ やっています。

どうやら みたい テレビばんぐみの ことで

みんなの いけんが あわないようです。

いもうとたちは

「だいすきな アニメが はじまっちゃう~」。

おにいちゃんは

「サッカーの しあいを みてるから ダメだよ」。

どちらも ゆずりません。

ついに いもうとたちが なきだしてしまいました。

これには おにいちゃんも こまっています。



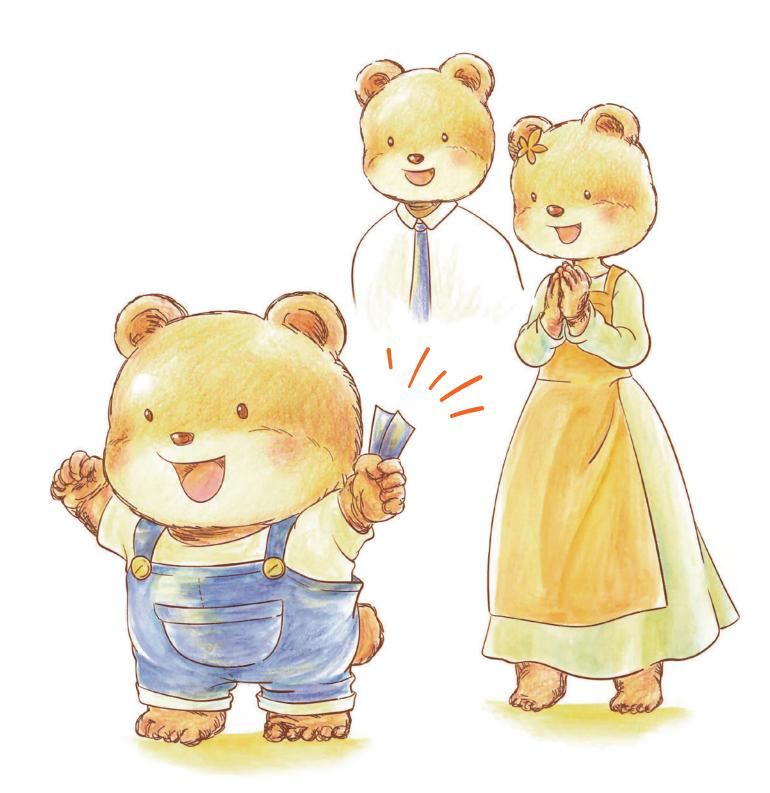


そこで さとしくんは いいました。
「みんなで こうへいに せんきょを しよう!
サッカーが みたい おにいちゃんか
アニメが みたい いもうとたちか
おうえんしたい ひとの なまえを
かみに かいて はこに いれてね。

ぼくの いっぴょう たいせつに』と おまじないの ことばを いうのが ルールだよ」。

そのとき『いっぴょう いっぴょう





パパも ママも おにいちゃんも いもうとたちも 『いっぴょう!』 『いっぴょう!』と

おまじないの ことばを となえながら かみを いれて いきます。 さいごは さとしくんの ばんです。

いっしょうけんめい なやんだ あとに

**『いっぴょう いっぴょう** 

ぼくの いっぴょう たいせつに』と いいながら かみを いれました。 せんきょの けっかは

おにいちゃんが 3ひょう。 いもうとたちが 4ひょう。

いもうとたちが みたい アニメに きまりました。





「さとし ありがとうな。

さとしくんは

おもいました。



つぎのひ さとしくんが おきるとパパと ママが おでかけの

したくを しています。

「どこに いくの? なにか あるの?」。

さとしくんが きくと

「せんきょだよ」。

パパが こたえてくれました。

「せんきょで もりの

リーダーに なってくれる

ひとを きめるんだ」。











**「せんきょって すごいなぁ。** 



## おうちの方へ

この絵本の中では、動物たちが「一票。一票。ぼく(わたし)の一票、大切に」と、おまじないの言葉を唱えながら 投票するシーンが登場します。

実際の選挙で、おまじないの言葉を言うことはありません。 でも、子どもたちはおまじないが大好き。 くまのさとしくんのまねをして おまじないの言葉を唱えることで 選挙が記憶として定着します。

そして、選挙を「ごっこ遊び」として

遊びの中に取り入れることができれば、子どもたちにとって、

選挙がより楽しく、より身近なものになります。

おうちの方には、ぜひ、

子どもたちと一緒に「選挙でっこ」を楽しんでいただきたいと思います。

そして、小さい頃から「選挙に行く」 「投票する」ことを習慣づけてあげてください。 また、次の選挙には、子どもたちも一緒に 連れて行ってあげてくださいね。

## おまじないの言葉は

「一票。一票。ぼく(わたし)の一票、大切に」。





発行/徳島県選挙管理委員会 令和2年8月発行